

## 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ実現に向けて

### 枚方市と連携協定を締結します！

～EV（電気）バスの普及拡大、公共交通の利用促進などで連携～

京阪バス株式会社（本社：京都府京都市、社長：鈴木一也）は、枚方市（市長：伏見隆）と3月6日（日）に「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」実現に向け連携協定を締結します。

当社は、昨年12月から京都駅と京阪電車七条駅及び梅小路を結ぶ路線バス「ステーションループバス」の全車両（4両）にEV（電気）バスを導入（5年間の実証実験）するなど、脱炭素に向けた取り組みを積極的に進めています。また、枚方市は2020年に大阪府内市町村で初となる「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を宣言し、全国に先駆けて脱炭素に取り組むモデル事業「（仮称）ネット・ゼロシティ Hirakata style」を推進しています。

当社と枚方市は、連携協定の締結により公民連携を強化し、EV（電気）バスの普及拡大や公共交通の利用促進に加え、省エネルギー及び再生可能エネルギーの普及など、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進します。

#### ■連携協定の連携事項

- (1) EV（電気）バスの活用に関すること
- (2) 省エネルギー及び再生可能エネルギーの推進に関すること
- (3) 公共交通機関の利用促進に関すること
- (4) その他、二酸化炭素排出量実質ゼロの推進に関すること

#### ■協定締結式

- (1) 開催日時 2022年3月6日（日）13時～
- (2) 場 所 くずはモール南館ヒカリノモール1階「SANZEN-HIROBA」  
※枚方市環境イベント「環境広場」内で開催  
(住所) 大阪府枚方市楠葉花園町15-1
- (3) 枚方市出席者：伏見市長、小山副市長、川南環境部長  
当社出席者：代表取締役社長 鈴木一也

なお、この取り組みは、京阪グループが推進する、“SDGsを実現するライフスタイル”を企画・提案する「BIOSTYLE PROJECT」の一環です。

以上

SDGsを実現するライフスタイルを提案する

## 京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGsの達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「BIOSTYLE(ビオスタイル)」として展開し、お客さまにご提案しています。

規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、

毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできる様々な活動を推進していきます。

# KEIHAN BIOSTYLE PROJECT

京阪グループのSDGs: ビオスタイルプロジェクト

▶ 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら <https://www.keihan-holdings.co.jp/business/biostyle/>

## 脱炭素社会の実現に向けた EV(電気)バスの導入／京阪バス㈱

該当するSDGs				
 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	 <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p>	 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>	 <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>	 <p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p>
BIOSTYLE PROJECT ガイドライン				該当する 項目
① GOOD for Health				
② GOOD for Minds				
③ GOOD for Locals				●
④ GOOD for Social				●
⑤ GOOD for Earth				●